



鶴ヶ島中学校



鶴ヶ島中学校と 西中学校の学校再編

おがわ 小川
しげる 茂 議員



良好な教育環境の整備・充実を 図る

問 鶴ヶ島中学校と西中学校の再編の必要性は。

答 鶴ヶ島市小・中学校の再編、再配置計画では、鶴ヶ島市の子どものために、現在の学校教育の水準を将来にわたって維持・向上し、良好な教育環境の整備・充実を図ることを基本方針としている。良好な教育環境を整備・充実するためにも学校再編によって、学校の適正規模を確保することが必要である。

児童・生徒数の将来推計では、30年後には、現在の児童・生徒数の6割程度に減少する見込みである。

今年度、小学校は8校中1校、中学校では5校中3校が適正規模を下回っており、小学校よりも中学校の小規模化が進行して

いる。

中学校は教科担任制であり、小規模化が進むと、県から配置される教員数が減少し、常勤の教員を配置できなくなる教科が生じる。特に西中学校は、最も早く1学年1学級が発生する見込みであることから、最初に、鶴ヶ島中学校との再編に取り組むこととしている。

十分な教育効果を発揮できるよう適正規模を確保し、良好な教育環境の整備・充実を図るため、学校再編に取り組んでいく。



子育て施策の取組と 成果について

すぎた 杉田
やすゆき 恭之 議員



施策の取組を市内外に PRしていく

問 総合政策部では。

答 少子高齢化と人口減少に対応するため、魅力ある地域社会をつくり、将来にわたって市の活力を維持することを最重要課題とする。

問 市民生活部では。

答 地域支え合い協議会が実施する放課後や週末の子どもの居

場所づくりの取組を推進する。

問 福祉部では。

答 子ども家庭総合支援拠点を設置し、子育て世代包括支援センターや児童・家庭総合相談窓口との連携により、相談支援体制の強化を図る。ファミリーサポートセンターでは、緊急サポートセンター機能を開始した。

問 健康部では。

答 妊娠から出産、子育てに至るまで、心と体の健康維持・増進の視点から、各種の相談支援体制を推進する。

問 都市整備部では。

答 公園や道路整備などにおいて、子どもや子育て世代にやさしいまちづくりの実現を目指す。

問 教育部では。

答 学び合い学習、外国語教育・ICTを活用した教育の推進、学校と地域の新しい連携体制の構築、学校施設の老朽化対策、学校再編などの取組を進める。